

うしみサラダボール子育て情報

「伝え合う言葉」

令和7年11月12日号

板橋富士見幼稚園



大人の対話から学ぶ子ども

幼児は、いつも周囲の動きや言葉に敏感に反応しながら成長しています。昨日できなかったことが、今日できるようになったりと、親にとって喜びにつながる感動の出会いの毎日でもあります。

子どもの成長は、加速的に変化しますが、その変化に気づくことは意外と少なく、「あれ、いつできるようになったのかしら」と驚かされることもあります。

お絵描きや、手先でつまむことなどは、出来るようになってから気づくことが多いかもしれません。言葉という観点でみると、「昨日、パパとマクドナルドに行くの」といった少しおかしい表現になる時期があったりして、人に伝えたい出来事を、時間の単位を入れて話すことは、とても難しい表現と言えます。まだ、しっかりとした時間の概念が出来上がっていないため、昨日と今日の区別がつかない段階なのです。しかし、もう少し学びの時間が経過すると、「昨日マック食べる」という表現から、いつの間にか、「昨日マック食べた」と時間という単位を入れて伝えられるようになってきます。不思議なことに一挙に区別して話せるようになるのです。

こうした成長は、何気なく日々最も多く接するご家族との会話が学びの場となります。

子どもは何でも真似をするところから言葉を覚えていきます。是非、1歳半を過ぎる頃からは、子どもの前で時間の概念や状況説明などを、大人が正しく会話してみてください。知的発達を加速させる手助けとなります。

時間の許す限り、遊びを沢山体験させ、たくさんの言葉を掛け、イメージや連想する機会を沢山与えてあげてください。遊びの時間や遊びの質が多様性に飛んでいると、ひとりごとのつぶやきや、連想して遊びを広げていくことが上手になっていきます。



【 ♡ チューリップ ♡ 】

春に向けてチューリップの球根を植えました。どんな色のお花が咲くのか、春が待ち遠しい様子です。